

ダンゴムシの誕生日

うさぎぐみ (No.3)

うさぎ組では、今、「アゲハチョウの幼虫」「ダンゴムシ」「ツマグロヒョウモンの幼虫」「テントウムシ」「バッタ」「カタツムリ」「カエル」を育てています。中でも今回は、「ダンゴムシ」をお世話したり捕まえたりする姿から子どもたちが「学んでいるなあ!」「感じているなあ!」と思う場面を紹介します。ただ、「生き物が好き!」なだけでなく、愛情たっぷりお世話をしたり、生き物を大事にしたり、友達と生き物について調べたりする中で、学びがたくさんありました!



ダンゴムシを探していたら、カタツムリを発見! ラッキー♪

学び①

ダンゴムシを探し中の1枚。子どもたちはどこにダンゴムシがいるのか、知っているのです。それは、1冊の紙芝居からでした。「じめじめしているところが好き」ということを知った子どもたちはいつも自分たちの植木鉢の下をチェック! 動かしたらきちんと元に戻しておくことも約束です。「使ったら片付ける」これも大切なことですね!



ダンゴムシの赤ちゃん載って
る! 透明って本間やったな~!



☆気付き

生き物や虫が苦手! と思っていた子どもたちも友達と一緒になら見る事ができました! 友達の力は大きいですね! 見て知ることもありますものね!

学び②

これは、なかなか見られない場面! なんと! ダンゴムシの赤ちゃんが産まれたところを見ることができた貴重な日! 「ダンゴムシの誕生日だ!」なんとともかわいいつぶやき。ダンゴムシの赤ちゃんの誕生を喜ぶ子ども達の心が素晴らしい! テレビや動画などでなく、実際に見る事ができたことも貴重な学びでした!

学び③

ダンゴムシって何食べるんだっけ? 前に見た絵本や図鑑で調べています。タブレットや携帯ですぐに調べられる現代ですが、子どもたちは扱いにくいもの。子どもたちは絵本や図鑑から「枯れた葉っぱ」や「コンクリートや石」「野菜やお菓子」などを食べることを発見! 今、ダンゴムシのおうちには、おいしいビスケットが自分たちで調べたり、調べたことを友達と一緒に試したりできることって素晴らしい学びです!

